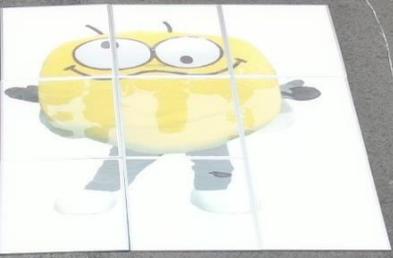


利賀の水音



利賀ダム見学イベント2019
国土交通省北陸地方整備局
利賀ダム工事事務所



vol.34
2019.11
発刊

1. はじめに
2. 利賀ダム見学イベント2019 ～ 利賀地域の皆様とともに ～
3. 担い手育成・地域活性化
(1)担い手育成のための出前講座・現場見学！
(2)年間400名超の現場見学者を達成！
4. 安全対策協議会の活動
(1)第22回建設労働災害防止大会
(2)安全パトロール実施状況
5. 工事・業務だより ー令和元年度下半期ー
6. トピックス
7. あとがき

1.はじめに

日頃より、利賀ダム事業にご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
おかげさまで、当事務所における本年度の事業も順調に進んでいるところであります。

さて、今年も全国的に相次ぐ豪雨災害や台風15号、19号など自然災害が続いております。災害等で被害に遭われた方や避難生活を余儀なくされている方には、改めましてお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方には心よりご冥福をお祈りします。

私たち国土交通省職員も微力ながら、TEC-FOCE(緊急災害対策派遣隊)派遣など被災地の1日も早い復旧・復興に向けて全力で支援しているところであります。

一方、利賀ダム工事事務所の工事現場では、河床進入トンネル工事のトンネル掘削作業や、シクルビ谷の橋梁上部工事の橋桁架設が完了するなど、大きな事故も無く、順調に進んでいるところであります。

当安全対策協議会は、9月の建設労働災害防止大会、11月の砺波労働基準監督署様との合同安全パトロールなど、関係機関からのご協力を頂きながら、利賀ダム事業に関わる全ての受注者と発注者が一体となって安全管理を行い、改めて「事故を起こさない」決意を誓うとともに、ダム建設事業を推進していく中で、地域の安全と発展・自然環境の保全に寄与するとともに、地域への貢献に努めて参ります。引き続き、地域の皆様及び関係各位のご理解・ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

11月20日に利賀では初雪となり日ごとに寒さが身にしみる頃になってまいりました。お互いに、健康には注意して寒い時期を乗り切りましょう。



利賀ダム見学イベントを開催 ▶▶▶

利賀地域の皆様と豆谷大橋でいろんな体験や「利賀ダムカレー」にチャレンジしました。

9月28日(土)に、利賀ダム連絡協議会、利賀地域児童生徒育成会、南砺市主催による「利賀ダム見学イベント2019」を開催しました。当日は、園児・児童・生徒19名を含む地元の方々68名が参加しました。安全対策協議会も皆さまと協働して、開催準備から当日の運営のお手伝いをしました。

今回は、豆谷大橋からの眺望を堪能しながら①「路上アート体験」と②「大声体験」をし、上村公民館では、ダム工事現場の様子を撮影した③「利賀ダム事業ドローン映像上映会」と④「利賀ダムカレー」にチャレンジし、最後に品評会を行いました。

1 豆谷大橋で路上アート体験 (利賀ダム工事事務所・安全対策協議会が担当)

路上アート体験は、豆谷大橋をキャンバスにして、利賀地域児童生徒育成会の子供たちに①南砺市ブランドマークの「NANTOくん」②利賀地域自治振興会ゆるキャラ「オロロくん」③利賀ダム工事事務所シンボルマークの3つの作品に挑戦しました。

お手本のパネルを見ながら、みんなでカラーチョークを上手く使って作品が完成しました。(安全対策協議会の皆様ご協力有り難うございました。)



カメラ目線で
ポーズ!



うん!
いい感じ!



なかなか
いい感じ
だね!

2

大声体験

(安全対策協議会による機材・安全施設・管理を担当)



路上アート体験の後は、大声体験に挑戦です。口山地区の工事現場で使用している「騒音測定器」を使って声の大きさを測定する体験です。

まず、茶色いマイクに向かって大声で叫びます。大声レベルは電光表示板に表示され、大声レベルが100デシベルを超えると、赤のパトランプが回ります。

子供達はみんなで声を出して100デシベル超えを連発しました。いつもは静かな豆谷地域に、子供達の元気な声が響きわたっていました。(株横河ブリッジの皆様ご協力有り難うございました。)

すごい！
100デシベル
超えたよ！

▲大声体験



子供達の様子を見ていたママさんたちも思わず雄叫び！
日頃のストレスが発散できたかな？

3

利賀ダム事業ドローン映像上映会

(利賀ダム工事事務所が担当)



上村公民館において、利賀ダム職員より利賀ダム事業について、最新のドローン映像を使って説明を行いました。

現場は、非常に陰しく、狭く、危険で直接現地で見ることが出来ないため、迫力あるドローン映像に、皆さん真剣な様子で見っていました。

▼ 上映会に参加された皆様

▲ドローン映像はこんな感じ！

利賀川と林道の高低差が
50mもあるのか！
すごい!!

ダムはこんな所に
できるんだ！



豆谷大橋での体験の後は、育成会の皆さんと「利賀ダムカレー」にチャレンジ!
A～Hの8グループに分かれて、オリジナル「利賀ダムカレー」を作りました。

品評会の結果、Dグループが「利賀ダム連絡協議会賞」、Bグループが「南砺市ふるさと整備部賞」、Cグループが「利賀ダム工事事務所賞」を受賞し、表彰されました。
(利賀行政センター・協議会・育成会の皆様ご協力有り難うございました。)

「利賀ダムカレー」と品評会

Dグループ 利賀ダム連絡協議会賞



Aグループ



Eグループ



Bグループ 南砺市ふるさと整備部賞



Fグループ



Cグループ 利賀ダム工事事務所賞



Gグループ



Hグループ



受賞されたグループの皆様、
おめでとうございます。
参加された皆様、お疲れ様でした。

将来の担い手となる高専生・大学生や先生方に出前講座や現場見学を通じて建設業（ダム事業）に対するやりがいを「見て・聞いて・触れて」実感!!

10/25

国立石川工業高等専門学校 環境都市工学科(3年生)に高専OBが出前講座

令和元年10月25日(金)石川工業高等専門学校の環境都市工学科3年生を対象に、利賀ダム工事事務所の田村事務所長(長岡高専OB)と調査設計課出村技官(石川高専OB)による出前講座を実施しました。

出前講座は、北陸地方整備局が行っている事業や施策について、知っていただくとともに、ご意見やナマの声を聞かせていただく場として実施しています。

今回の内容は、①北陸地方整備局および利賀ダム工事事務所の概要、②ダムの役割、③最近の気候や災害等の話題についてお話しさせていただきました。先日の台風第19号による大規模災害と現在の復旧状況についての説明の際、全学生が真剣に聞き入っている様子が見られました。



▲利賀ダム事業について石川高専OB(写真左)より説明を聞く高専生



▲田村事務所長の講義を真剣に聴く高専生

国立石川高専 環境都市工学科 3年生のアンケート結果と感想【抜粋】

満足度：100% (42/42) 大変満足(19) おおむね満足(15) 満足(8)

- 国土交通省は、部署によっていろいろな仕事があるが、全て自分達が安心して暮らすために必要なことを常にくれられていると分かった。こういったやりがいのある仕事をしたいと自分は思った。
- この講座を受けて、元から国土交通省のことは気になっていたけど知れて良かったです。私も人の生活を支える仕事に就きたいし、ダム作りに携わることで人々の生活を守りたいと思いました。
- 3年生になり、就職を考える上で国交省には少し興味があったので、今回はとても良い機会になりました。(中略)私の地元利賀村で建設中のダムは、3つの目的があるという事も聞いたので、完成した際には、見に行ってみたくです。
- 国土交通省のTEC-FOCEは、現場に行って調査や復興作業をすると分かった。でも、最新の先端技術によって時間削減され、安全に正確に調査できるのはすごいと思ったが、温暖化によって異常気象になってよりこういう場面が増えてくると思う。自分も前から国土交通省は考えていて、今回の話を聞いてまだ分からないが、前向きに捉えていきたい。
- 私は、将来、防災に関わる仕事に就きたいと思っているので、現在行われている対策や事業について関心を持ち、知っていけたらと思います。今回の講座は、そう思えるきっかけになったので、ありがたかったです。

石川高専の皆様、ご協力有り難うございました。

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科古谷 准教授と3年生他(28名)がダム工事現場見学をしました。古谷准教授には、職員よりダム現場周辺の地質状況について説明しました。



▲職員より橋梁工事説明を聞く県立大学生



▲ダム現場を視察する古谷准教授(写真右)

金沢工業大学 地域防災環境科学研究所 川村教授 が河床進入トンネル工事を視察しました。職員より工事概要説明(写真①)後、上部トンネル先端部の山からの湧水状況などの確認(写真②)や掘削中の下部トンネルの切羽(トンネル先端部)状態などを確認しました。(写真③)

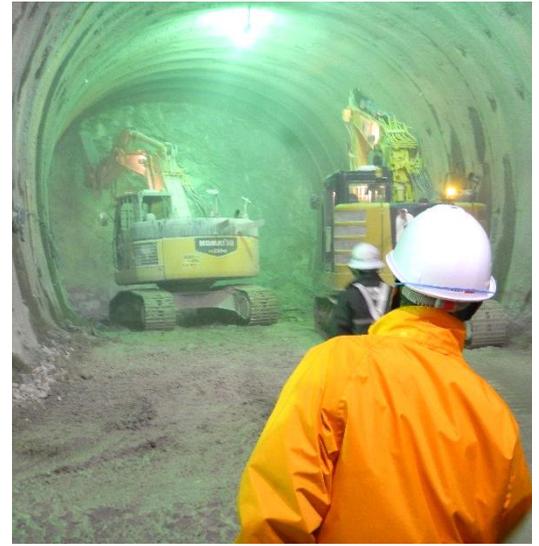
川村教授からは、「当初、上部トンネル脇の沢水がトンネル掘削に多少影響することを懸念していたが、影響が小さい事が確認できた。下部トンネルの地質も安定しており、安心した。」とのコメントがありました。(前田建設工業㈱の皆様ご協力有り難うございました。)



▲写真①:職員より工事概要を聞く川村教授(写真左)



▲写真②:上部トンネルの湧水状況を確認する川村教授



▲写真③:下部トンネルの切羽状態を確認する川村教授



▲監理技術者(左)より説明を聞く原教授(右)

富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科の原教授(計3名)が河床進入トンネル工事を視察しました。
(前田建設工業㈱の皆様ご協力有り難うございました。)

**田中南砺市長をはじめ、地域の皆様方に利賀ダムの現場見学をして頂きました!
おかげさまで、今年も400名超の見学者を達成! 誠に有り難うございました!**

11/13

田中南砺市長 (南砺市ふるさと整備部)の皆様

田中南砺市長(ふるさと整備部長含む3名)に河床進入トンネル工事現場を視察して頂きました。田村所長より田中市長に概要説明した後、前田建設工業株監理技術者よりトンネル工事に必要な吹付プラントやトンネル用掘削機械・土砂運搬車両(ロードホイールダンプ)などの重機やトンネル掘削状況について説明を行いました。田中市長は、「こんな山の中の狭い林道に吹付けプラントなどのトンネル設備が出来、こんな大型重機でトンネル工事していることはすごい!!」「若い技術者に見せてあげたい!!」と感動の連続でした。(前田建設工業株の皆様ご協力有り難うございました。)



▲田村所長(中央)より概要説明を聞く田中市長(左)と窪田部長(右)



▲吹付プラント(左上)やロードホイールダンプ(6m3級)の大きさに驚く田中市長



▲トンネル掘削部の吹付モルタル状況を視察する田中市長(右)と窪田部長(左)



▲前田建設工業株監理技術者(右)よりトンネル工事の説明を聞く田中市長(左)

9/27

南砺市女性議会実行委員会(産業建設常任委員)の皆様

南砺市女性議会実行委員会(産業建設常任委員)の山田委員長(他委員2名)に職員より本年度の利賀ダム事業概要について説明しました。現場では、ウシクルビ谷橋上部受託工事の工事概要について説明しました。この地域は、長崎温泉民宿と工事現場が非常に近いことから、工事中の騒音・振動の影響を最小限にするための工夫や騒音計設置などの対策を行い、地域に「分かりやすく」「見える化」を行った結果、これまで苦情やトラブルも無いことを説明しました。山田委員長からは、「建設現場では、環境への配慮や工夫している事がよく分かりました」とのコメントがありました。(株横河ブリッジの皆様ご協力有り難うございました。)



▲職員よりダム事業説明を聞く委員(写真中央:山田委員長)



▲橋梁工事現場における環境対策などを委員に説明

南砺市教育委員会主催「緑の里講座」現地研修の皆様(62名)に、南砺市長崎地区で施工中のウシクルビ谷橋上部受託工事の現場見学会を行いました。

当日は、参加者多数のため、2グループに分かれて、ダム事業説明と工事説明を交互に実施しました。お忙しい中、多数の方にご参加頂き、誠に有り難うございました。
(榎横河ブリッジの皆様ご協力有り難うございました。)



▲現場にて職員より橋梁工事の概要説明(1号車の皆様)



▲橋梁工事現場にて(1号車の皆様)



▲現場事務所にて職員よりダム事業説明(2号車の皆様)



▲橋梁工事現場にて(2号車の皆様)

「緑の里講座」アンケート結果【抜粋】 満足度：79% (42/53) 満足(20)やや満足(22)

- ダムを1つ作るにも周辺の関連施設などたくさんの工事がある事や騒音防止にも気配りしなければならないことなど勉強になった。
- 長期施工が大変なものよく分かりました。次の研修会でまた立ち寄る事があれば、良いのではないのでしょうか。昼食は「ダムカレー」で!「ダムカード」というものがあるということも初めて知りました。

中新川郡公共土木事業協議会(立山土木事務所管内の土木行政職員)の皆様(14名)がウシクルビ谷橋上部受託工事を視察しました。(榎横河ブリッジの皆様ご協力有り難うございました。)



▲監理技術者(右)より工事説明を聞く協議会の皆様

「中新川郡公共土木事業協議会」 アンケート結果【抜粋】 満足度：100% (14/14) 満足(12)やや満足(2)

- 工事の規模が大きくてビックリしました。
- 施工業者の技術力におどろきました。
- 地域のコミュニケーションが大事だと思いました。

4.安全対策協議会の活動 (1) 第22回建設労働災害防止大会

9月24日(火)に令和元年度安全対策協議会第22回建設労働災害防止大会を開催しました。
[参加者:44名]

田村会長の挨拶後、来賓の砺波労働基準監督署の森田課長と南砺警察署の朝日奈交通課長より労働災害防止や交通事故について講話がありました。

次 第

開会挨拶 利賀ダム工事事務所長 田村 利晶

講 話 砺波労働基準監督署 監督・安衛課長 森田 精一

「建設業における労働災害防止の現状について」

講 話 富山県南砺警察署 交通課長 朝日奈 孝志

「交通事故について」

受賞報告 米澤工業(株) 現場代理人 須河 永喜

H30年度完成優良工事(局長表彰)

「利賀ダム工事事務所1工区取付部他工事」

安全宣言 前田建設工業(株) 監理技術者 福谷 将徳

閉会挨拶 (株)藤井組 代表取締役社長 藤井 秀之



▲ 田村会長による開会挨拶



▲ 砺波労働基準監督署
森田監督・安衛課長

次に、H30年度完成優良工事で局長表彰を受賞した米澤工業(株)現場代理人の須河永喜氏より受賞報告をしました。

受賞報告では、昨年度の安全施工研究会で最優秀賞を受賞した報文を発表しました。(写真①)



▲ 写真①: 受賞報告する米澤工業(株)の須河氏(写真左)



▲ 富山県南砺警察署
朝日奈交通課長



▲ 写真②: 受注者代表者から田村会長へ「安全宣言」



▲ 写真③: 受・発注者全員による「令和元年度安全重点目標」唱和

次に、受注者を代表して、利賀トンネル河床進入トンネル工事(前田建設工業(株)監理技術者の福谷氏から田村会長への「安全宣言」を読み上げるとともに、参加者全員で「令和元年度安全重点目標」を唱和し、無事故・無災害に向けて決意を新たにしました。(写真②③)

最後に、藤井副会長の閉会挨拶で大会を無事終了しました。



▲ 藤井副会長の閉会挨拶

4.安全対策協議会の活動 (2)安全パトロール実施状況

8月

8月は、①喜三郎谷整備他工事(中越興業株)と②利賀ダム工事用道路維持修繕工事と③利賀ダム葛山地区貯水池法面地質調査業務を対象に、安全通路の確保や足場等を点検しました。[参加者:26名]

特に、①喜三郎谷整備他工事(中越興業株)においては、利賀大橋作業構台撤去に伴う通路・昇降設備・消火設備など高所作業に対する安全対策を確認しました。[写真①] また、現場内には、ハイブリッド型休憩施設(太陽光パネルを装備した電源不要の休憩施設)の設置や、喫煙所、快適トイレなどが設置されており、各工事の担当者からも高く評価されました。[写真②]

写真①:利賀大橋作業構台撤去時の安全対策点検



写真②:ハイブリッド型休憩施設(屋根上は太陽光パネル)



10月

10月は、砺波労働基準監督署との合同パトロールを実施しました。[参加者:27名](悪天候のため、10/25から11/5に順延) 対象は、利賀ダム河床進入トンネル工事(前田建設工業株)です。

砺波労働基準監督署の米屋労働基準監督官には、トンネル掘削機械・設備等の安全対策の他、ケーブル配線やトンネル粉じん対策などを点検して頂きました。[写真③④]

点検後のミーティングにおいて、米屋労働基準監督官からは「配線や粉じん対策などについて、しっかりしている現場である。今後も粉じん対策のガイドラインに沿って送风量がどの方向にどの程度流れているのか確認してほしい」とのコメントを頂きました。[写真⑤]

(砺波労働基準監督署 様ご協力有り難うございました。)

写真③:トンネル換気設備を点検する
米屋監督官(写真右)



写真④:トンネル粉じん対策点検状況



写真⑤:点検後のミーティングで講評する米屋監督官



利賀ダム工事用道路ウシクルビ谷橋上部受託工事／株式会社横河ブリッジ 継続

【工期】平成29年9月27日～令和2年1月31日



現場代理人
矢口 博史

工事概要

本工事は、南砺市利賀村長崎にて、鋼製橋梁上部工の製作・架設を行う工事です。

平成30年度に工場製作を完了し、一部部材の架設を行い冬期を迎えました。本年度はトラベラークレーンを使用して、10月下旬に橋桁架設を完了しました。(写真①)

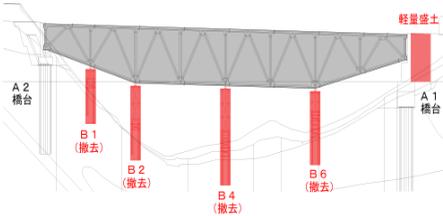
12月末を目途に仮設備解体等のすべての現場作業を完了する予定です。

橋長	111.0m
有効幅員	8.5m
橋梁形式	単純上路式鋼トラス橋
鋼重量	500.7t
支間長	109.5m
架設工法	ベント併用トラベラークレーン架設及びクローラクレーン架設

現場の状況

11月からは、仮設備(B1～B6仮受け台)撤去工、軽量盛土工、現場塗装工、排水管設備工、クレーン解体等の作業を行います。

今後、長崎温泉に近い場所での軽量盛土工を予定しており、引き続き騒音・振動には十分注意して、施工していきますので、宜しくお願いします。



写真①: 10月下旬の現地状況



■ 10月下旬までの施工完了部分 ■ 11月以降施工部分

安全対策

着工から現在まで無事故・無災害を継続中です。架設作業は完了しましたが、ベント設備解体・足場解体の危険作業が残っているため、墜落災害撲滅に重点を置き、高所での墜落制止用器具の掛け忘れや不使用が無い様、日々の安全管理を今まで以上に徹底し無事故で工事完了する所存です。

担い手確保の取り組み

8月下旬に法政大学、9月中旬に早稲田大学大学院のインターンシップ現場体験を行いました。(写真②)

早稲田大学大学院生からは、「現場事務所の衛生面がとても良く、現場内の雰囲気も良い」との高評価でした。女性でも橋桁の上を怖がることなくきびきびと歩いており、感心させられました。法政大学の方からは、「ベント基礎杭施工を真近で体験することができ、現場作業の苦労ややりがいを肌で感じる事が出来た」との感想でした。

インターンシップに参加された学生の皆さんお疲れ様でした。

写真②: インターンシップ現場体験
(左側: 早稲田大学大学院生)



地域貢献

9月28日の「利賀ダム見学イベント2019」において、豆谷大橋での「大声コンテスト」用機材として、当現場で使用している騒音計や表示板の提供・設置などのお手伝いをさせて頂きました。(写真③)

最初は、子供達も少人数の参加でしたが、表示される騒音レベル(数字)が次第に大きくなるにつれて、本気モードのスイッチが入り、次第に親御さんも参加され、最後は皆さんで大声を出して楽しんでいる様子が非常に印象的でした。ご参加頂いた皆様、有り難うございました。

写真③: 大声コンテスト(騒音計などの機材提供)



利賀ダム河床進入トンネル工事／前田建設工業株式会社

継続

【工期】平成30年9月26日～令和3年11月30日



監理技術者
福谷 将徳

工事概要

本工事は、利賀ダムの本体工事などを行うために、河床へ降りるための進入路トンネルを構築するものです。

施工は小断面で急勾配かつ曲線区間の多いトンネル施工となります。(最大下勾配12%、最小曲率半径55m)

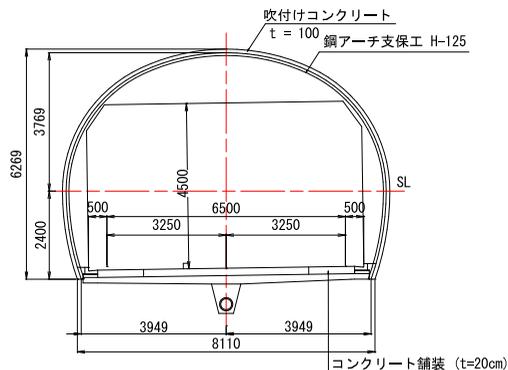
トンネル延長	上部トンネル／44.4m 下部トンネル／289.4m 林道連絡トンネル／24.3m
掘削断面積	48.3㎡ (支保パターンCII-W 設計)
工法	NATM工法(発破掘削)
その他	コンクリート舗装工・作業構台工

現場の位置



現場全景

標準断面図(CII-W)

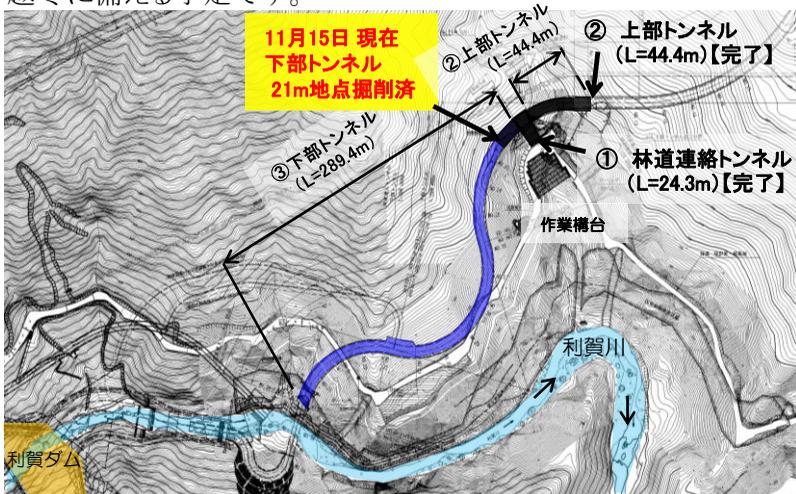


ダムサイトから林道仙野原線を下流へ約1kmの左岸側がトンネル坑口(入口)となります。本工事は、坑口から横坑で24m、上部トンネル44m、下部トンネル289mを掘削します。

現場の状況

6月にトンネル掘削のための作業構台設置を開始し、9月よりトンネル掘削工事に着手、①林道連絡トンネルの掘削を9月末に完了しました(写真①②)。11月4日には②上部トンネル44mまでを掘削完了しました。11月15日には下部トンネル21mまでの掘削が完了し、本年度予定していた掘削作業は完了しました。

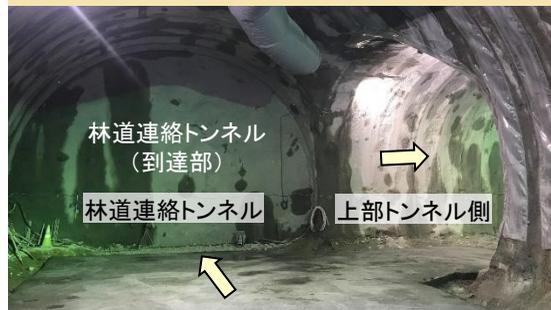
今後は、11月末までにトンネル掘削機械や仮設備を撤収して越冬に備える予定です。



写真①: 林道連絡トンネル坑口部



写真②: 上部トンネル坑口部



安全対策

トンネル工事が本格化し、狭隘な工事場所にドリルジャンボ等の大型機械が動くことから、重機や車両の接触災害防止を第一に工事を進めていきます。また、トンネル掘削中の切羽崩落や突発湧水等の事故を未然に防止するため、前方地山や湧水状況を把握するための探査を行いながら掘削作業を進めてまいります。近隣の皆様に極力ご迷惑をお掛けしないように努めてまいりますので、引き続き、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

地域貢献

9月28日の「利賀ダム見学イベント2019」では、「利賀地区連絡会」として、仮設トイレ(女子専用)機材提供などのお手伝いをさせて頂きました。(写真③)

今後も地域のイベントや行事に協力していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

写真③: 仮設トイレ(女子専用)提供



利賀ダム転流工パイロット道路工事／株式会社 藤井組

【工期】平成31年3月26日～令和元年12月20日

継続

工事概要



現場代理人
三浦 幸太

本工事は、利賀ダム転流工工事に必要となる利賀川河床部への進入路を確保するためのパイロット道路工事となります。パイロット道路の入口部分と、回転場整備、法面保護工(モルタル吹付)までが完了しました。

大豆谷地区では、豆谷大橋の架設用構台及び受圧板撤去が完了しました。

現場全景



現場の状況

写真①：転流工パイロット道路整備状況



写真②③：豆谷大橋架設構台、受圧板撤去完了



▲写真②：架設構台、受圧板撤去前



▲写真③：架設構台、受圧板撤去完了

担い手確保の取り組み

井波中学校の職業体験(14歳の挑戦)(写真④⑤)や、高岡工芸高校のインターン(写真⑥)を受け入れ、工事内容説明やドローン操縦体験、レーザー扫描仪による測量体験を行いました。高校生からは、インターンシップを経て、第1志望で当社に入社希望を頂きました。

写真④⑤：井波中学校(14歳の挑戦)



工事内容の説明



ドローン操縦体験

写真⑥：高岡工芸高校



ドローン操縦体験

地域貢献

10月20日の「ど〜んと利賀の山祭り」会場準備と片付けに参加させて頂きました。(写真⑦⑧⑨)

山祭り実行委員長から、「非常に助かった。来年からも、ぜひ参加して下さい」と、お言葉を頂きました。



写真⑨：会場片付

写真⑧：会場テント設営



写真⑦：石かち土台組立

貯水池法面進入路整備工事／株式会社 岡部

【工期】平成31年3月27日～令和元年11月29日

継続



現場代理人
系岡 栄明

工事概要

本工事は、南砺市利賀村北豆谷地先にて、林道下山線の崩壊した斜面および道路を復旧する工事です。崩壊した斜面は長大法面であり、そこでの不安定な斜面を掘削・整形し、法枠工により法面保護します。また、道路幅員を確保するため、補強土壁工・駒止防止柵工を施工します。

掘削	工	1,400m ³ (ロックライミング工法)
法面	工	720m ² (法枠工 F300-2000)
擁壁	工	32m (補強土壁工)
縁石	工	38m (駒止防護柵)
仮設	工	1式

現況の状況

8月中旬から、高所法面の掘削を行いました。そこではバックホウにウインチを搭載し、ワイヤーロープで本機を支え、斜面上を登降できるロッククライミングマシンを使用して、掘削しました。(写真①②)

また、10月初旬には、補強土壁工の施工完了し、11月15日までには、法枠工がほぼ完了しました。(写真③) 11月末には工事が全て完了します。

写真①：法面掘削状況(8月中旬頃)



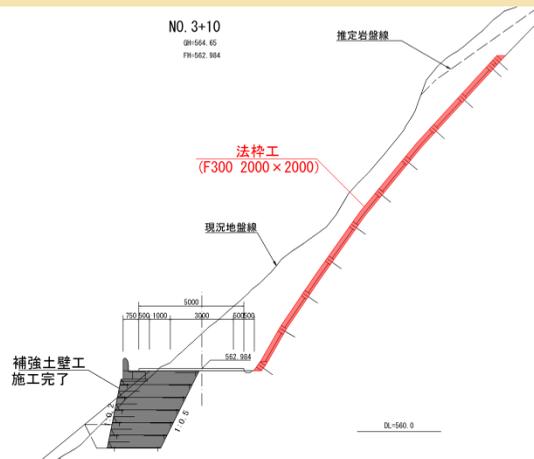
写真②：ロッククライミングマシン



写真③：法枠工完了(11/15現在)



図①：標準断面図



安全対策

着工から本日まで無事故・無災害を継続しています。現在、法枠工が本格的に施工しています。法面作業で最も多い墜落転落災害防止に重点を置き、安全作業で工事を進めています。

また、現場では熊鈴、ラジオ、熊撃退スプレーを現場に設置して熊・猪対策を実施しています。(写真④)

写真④：熊・イノシシ対策



地域貢献

8月には北豆谷地区の方々を現場に招待して、工事内容や進捗状況などを説明しました。(写真⑤)

11月初旬には北豆谷地区のお寺など冬支度等の手伝いを行いました。地元の方々からも感謝のお言葉を頂きました。(写真⑥)

写真⑤：現場説明会



写真⑥：お寺の冬支度の手伝い



【工期】令和元年6月22日～令和元年12月16日



担当技術者
雨野 亨 哉

工事概要

本工事は、利賀ダム建設事業に伴い、利賀ダム工事用道路(豆谷工区)及び付替市道において、踏掛版工や道路付属物工等を施工し、舗装工として橋面防水工やアスファルト舗装工を施工する舗装工事です。また、ICTを活用した工事となり、最新の技術を体感する事ができ、やりがいを感じています。

舗 装 工	橋面防水工 下層・上層路盤／基層／表層
排 水 構 造 物	測溝工／自由勾配側溝等
踏 掛 版 工	湖面橋・豆谷・滝谷・栃平他で施工
防 護 柵 工	ガードレール
道 路 付 属 施 設 工	ケーブル配管工 屋外配管(橋梁への添架)

現在の工事状況について

現在、4工区工事用道路においては、排水構造物工や情報管路工を施工中です。豆谷大橋の情報管路施工にあたっては、日本に数少ない橋梁点検車(BT-400)を使って、管路工事を行っています。(写真①)11月末までには、舗装を完了する予定です。一方、付替市道については、排水構造物工・情報管路工、付帯構造物、アスファルト舗装が10月末までに完成しています。(写真②)



写真①: 橋梁点検車(BT-400)による管路施工状況



写真②: 付替市道工事用道路 舗装完成



安全対策

重機を使用した作業が多く、高所(橋梁)作業もあることから、重機災害や墜落災害の防止に努めます。また、工事資材の搬出入に伴い工事車両が一般道を通行する事になりますが、近隣住民の皆様にご迷惑をおかけしないよう努めてまいります。気温も下がり冬の足跡も近づいてきましたが、無事故・無災害での工事完成を目指し、現場内一丸となり全力で取り組んでいます。

地域貢献

写真③: 「どーんと利賀の山祭り」設営・準備状況



10月20日に開催された「どーんと利賀の山祭り」に先立ち、19日に会場「そばの郷広場」において、設営・準備のお手伝いをさせて頂きました。(写真③)

普段、地域の皆様とお会いする事が少ないため、設営・準備の共同作業は新鮮に感じました。

作業終了後には、利賀地域づくり協議会 副会長 高桑久義 様よりねぎらいの言葉も頂き、短い時間ではありましたが充実した日となりました。

笹嶋工業(株)雨野 様ご協力頂き有り難うございました。

利賀ダム喜三郎谷整備他工事／中越興業株式会社

【工期】令和元年6月22日～令和2年1月10日

継続

工事概要



監理技術者
平田 正治

本工事は、将来的に利賀ダム関連工事により発生する土砂を、南砺市利賀村百瀬地先の山中に盛土する為に必要となる工事用道路を設置する工事であり、市道喜三郎線を拡幅してその後管理するために必要となる管理用道路を整備していきます。(写真①②)

その他、利賀村長崎地先において利賀大橋付近に存置していた仮設栈橋の撤去は、概ね完了しています。(写真③④)

引き続き追加工事として利賀大橋の国道156号沿い周辺の擁壁や防護柵等の仕上げ工事を行います。

百瀬地先	掘削	8800m ³
	路面整形	8710m ³
	散土	5010m ²
	舗装	1040m ²
	仮設橋設置	2400m ²
	橋梁床版	2カ所
		床版補強工

長崎地先	仮設橋工	2カ所
	擁壁工	延長4.8m
	舗装工	74m ²
	防護柵工	12m

工事の進捗状況

写真①：百瀬地区喜三郎谷橋補強

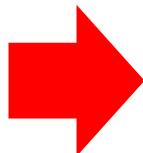


百瀬地区での
喜三郎橋の補強

写真②：百瀬地区喜三郎谷橋補強中



写真③：利賀大橋仮設栈橋撤去前



利賀大橋付近の
仮設栈橋の撤去

写真④：利賀大橋仮設栈橋撤去後



安全対策

百瀬地内へ設置する工事用道路は、急な斜面の山地へ設置する為、作業員や重機が滑落する恐れがある事から、無理な作業計画は避けてICT建設機械を活用して作業足場を確保しながら作業を行います。ダンプトラックの使用に際しては、掘削機等と同様に作業足場を整備し、ダンプトラックが横転したり滑落することを未然に防ぎます。また一般者が危険箇所へ立ち入らないように立入措置を設けることにより第三者が被災することのないようにします。

長崎地内では交通規制を伴った工事が生じるので、保安施設の適正配置及び維持管理を徹底します。

地域貢献

地域行事への参加、または協力などを積極的に行い、近隣住民の皆様の日常生活への負担が少しでも軽くなるように協力していきたいと思っております。



利賀ダム見学イベント2019

平成31年度利賀ダム工事用道路他維持修繕工事／中山工業株式会社

【工期】平成31年4月10日～令和2年3月31日

継続



現場代理人
横倉 健二

工事概要

道路維持：道路土工・舗装工・標識工・除草工・雑工
雪 寒：道路除雪
横坑補修：横坑補修工
横坑掘削工
仮設工
モノレール工・管理用通路工・作業構台工
ケーブルクレーン工・上空防護工

現場の状況

現在、ダムサイト右岸周辺において、横坑補修工を実施中です(写真①)。

横坑補修工では、過去に使用した木製支保工などの安全施設の老朽化対策として、鋼製支保工(更新)などを施工しています。

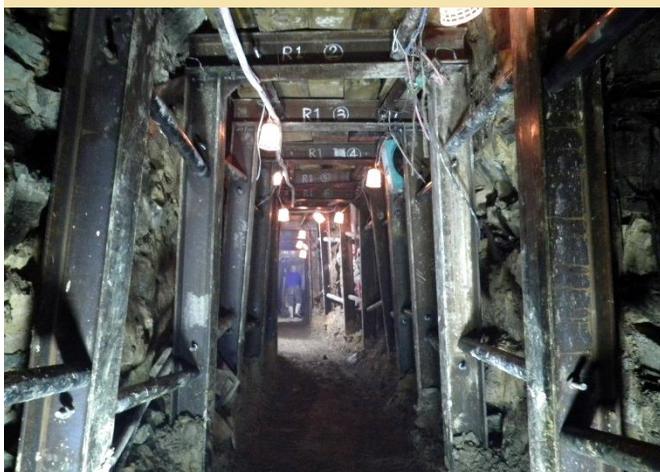
利賀ダム建設に必要な調査作業の安全・安心確保のため、厳しい工程ですが、11月末の完了を目途に、引き続き安全管理に努めて参ります。

一方、上村公民館(旧利賀小学校)前では、利賀ダム建設のための調査ボーリング成果品などを格納するための倉庫を建設中です(写真②)。11月末頃には完成する予定です。

維持工事は、利賀ダム工事事務所管内一円を施工範囲として5月より随時各所で作業を行い89%程(10月中旬)終わりました。各所に於けるご理解・ご協力ありがとうございます。

現況写真

写真①: 鋼製支保工(更新)状況



写真②: 格納用倉庫整備状況(旧利賀小学校前)



安全対策

施工箇所はいずれも急峻なところであり、急斜面・高所作業では、保護具の着用はもちろん、上下作業の回避、親綱の設置、点検、手元・足元注意の徹底を図り又、ケーブルクレーン作業では、連絡・合図の確認の徹底、有資格者による確実な運転を心掛けて、無災害で進めています。

冬季は、ロータリー除雪作業時の安全対策として監視員が同行いたしますので、誘導及び指示にご理解・ご協力をお願い致します。

地域貢献

来年2月のそば祭りでは、イベント開催の会場で裏方として、会場設営等に参加予定です。



⑤ **平成31年度 利賀ダム貯水池法面地質調査（押場地区）業務**
【工期】平成31年4月9日～令和元年11月11日 **／ダイチ株式会社**

調査完了

業務概要

本業務では南砺市利賀村押場地先において、貯水池法面斜面对策検討のための、ボーリング調査(高品質ボーリング、原位置試験、ボアホールスキャナー観測等)を実施いたしました。おかげさまで、現場作業は10月上旬に無事終えることができました。有り難うございました。

主任技術者
矢野 亨



⑥ **令和元年度 利賀ダム押場地区法面对策地質調査(その1)業務**
【工期】令和元年7月25日～令和2年1月20日 **／株式会社村尾地研**

業務概要

押場地区の集落跡地付近の斜面内で、地質状況把握のためボーリング(2孔120m)を行います。現場は崩壊のおそれのある急勾配区間もあるため、安全に留意して作業しています。調査は9月上旬に開始し、12月中旬に完了する予定です。

主任技術者
野坂 徹



⑦ **令和元年度 利賀ダム押場上流地区地質調査業務／ダイチ株式会社**
【工期】令和元年7月19日～令和2年1月20日

調査完了

業務概要

本業務では南砺市利賀村押場地先において、軟弱地盤の有無及び分布状況把握のための、ボーリング調査(コアボーリング3孔、深度30～70m)を実施いたしました。おかげさまで、現場作業は10月中旬に無事終えることができました。有り難うございました。

主任技術者
矢野 亨



⑧ **平成31年度 利賀ダム工所用道路地質調査業務／株式会社ホクコク地水**
【工期】令和元年6月14日～令和2年1月21日

業務概要

南砺市利賀村北豆谷地先の林道下山線において、工所用道路建設のための地質状況を把握することを目的とした調査ボーリング・原位置試験を行います。現在のところ、12月には現場作業を終える予定です。

主任技術者
橋本 充弘

大豆谷地区



⑨ **平成31年度 利賀ダム貯水池法面地質調査(大豆谷地区)業務／株式会社アーキジオ**
【工期】平成31年4月24日～令和2年1月20日

業務概要

南砺市利賀村大豆谷地先において、貯水池法面斜面对策検討のため、深度10～40mの調査ボーリングを4箇所を掘削、傾斜計観測孔を設置する業務です。業務は、現在3箇所目を掘削中です。12月中には現場作業を終える予定です。

主任技術者
石井 仁美



⑩ **平成31年度 利賀ダム葛山地区貯水池法面地質調査業務(大豆谷地区)**
【工期】平成31年4月25日～令和2年1月31日 **／共栄興業株式会社**

業務概要

南砺市利賀村大豆谷地先にて地質調査を行っています。地すべり土塊の性状を把握するため、追加調査を行うこととなりました。高品質ボーリング・ボアホールカメラによって地質の状況を確認し、その中に動きを観測するための計器を埋設します。現地作業については、12月中旬(積雪)までの予定です。

主任技術者
林 昭司

東山地区



主任技術者
須崎 俊秋

- ⑩ 平成31年度 利賀ダム東山地区貯水池法面地質調査(その1)業務/
サンコーコンサルタント株式会社
【工期】平成31年4月19日～令和元年11月29日

調査
完了

業務概要

本業務では、東山地区貯水池法面对策のための高品質ボーリング1孔(30m)と地すべり観測孔設置作業を行いました。おかげさまで、現地調査は8月末に完了しました。有り難うございました。



主任技術者
金住 健一

- ⑪ 平成31年度 利賀ダム東山地区貯水池法面地質調査(その2)業務/
株式会社ダイヤコンサルタント
【工期】平成31年4月19日～令和元年11月29日

調査
完了

業務概要

南砺市利賀村東山地先において、貯水池周辺斜面の地質状況を詳細に把握する目的で高品質ボーリング等(2箇所)の地質調査を行いました。おかげさまで、8月に調査作業を完了しています。ご協力、有り難うございました。

利賀地区



主任技術者
山田 和生

- ⑫ 平成31年度 利賀ダム利賀地区貯水池法面地質調査(その1)業務/
日本工営株式会社
【工期】平成31年4月10日～令和元年9月30日

調査
完了

業務概要

利賀川右岸のございしよ利賀下方斜面において、斜面内の地質状況を詳細に把握することを目的として、高品質ボーリング(2孔計90m)を行いました。おかげさまで、9月に調査作業を完了しました。ご協力誠に有り難うございました。

- ⑬ 平成31年度 利賀ダム利賀地区貯水池法面地質調査(その2)業務/
株式会社 村尾地研
【工期】平成31年4月10日～令和元年9月30日

調査
完了



主任技術者
土井 賢一

- ⑭ 平成31年度 利賀ダム利賀地区貯水池法面地質調査(その3)業務/
株式会社ダイヤコンサルタント
【工期】平成31年4月11日～令和元年11月29日

調査
完了

業務概要

南砺市利賀村利賀地先において貯水池周辺斜面の地質状況を詳細に把握する目的で、高品質ボーリング等(2箇所)の地質調査を行っています。現場作業は7月中旬から開始し、撤去作業も含め、12月中旬までに完了する予定です。

岩淵地区

- ⑮ 平成31年度 利賀ダム岩淵地区貯水池法面地質調査(その1)業務/
株式会社 村尾地研
【工期】平成31年4月10日～令和元年9月30日

調査
完了



主任技術者
須崎 俊秋

⑯ 平成31年度 利賀ダム岩淵地区貯水池法面地質調査（その2）業務／
サンコーコンサルタント株式会社

【工期】平成31年4月11日～令和元年9月30日

調査
完了

業務
概要

本業務では、「岩淵地区」貯水池法面对策の一環として、地すべり観測機器を埋設する深度105mの高品質ボーリング調査と観測孔設置作業を行いました。おかげさまで、8月末に現地調査を完了しました。有り難うございました。



主任技術者
金住 健一

⑰ 平成31年度 利賀ダム岩淵地区貯水池法面地質調査（その3）業務／
株式会社ダイヤコンサルタント

【工期】平成31年4月12日～令和元年9月30日

調査
完了

業務
概要

南砺市利賀村岩淵地先において、貯水池周辺斜面の地質状況を詳細に把握する目的で高品質ボーリング等(1箇所)の地質調査を行いました。おかげさまで、8月に調査作業を完了しています。ご協力、有り難うございました。

押谷地区

⑱ 平成31年度 利賀ダム押谷地区貯水池法面地質調査（その1）業務／
日本工営株式会社

【工期】平成31年4月18日～令和元年9月30日

調査
完了

⑲ 平成31年度 利賀ダム押谷地区貯水池法面地質調査（その2）業務／
株式会社アーキジオ

【工期】平成31年4月24日～令和元年9月30日

調査
完了

⑳ 平成31年度 利賀ダム押谷地区貯水池法面地質調査（その3）業務／
サンコーコンサルタント株式会社

【工期】平成31年4月18日～令和元年9月30日

調査
完了

葛山地区



主任技術者
林 昭司

㉑ 平成31年度 利賀ダム葛山地区貯水池法面地質調査業務
【工期】平成31年4月25日～令和2年1月31日

／共栄興業株式会社

調査
完了

業務
概要

南砺市利賀村葛山地先において、地すべりの有無を確認するための地質調査を行いました。高品質ボーリングによって地質の状況を確認し、その中に動きを観測するための計器を埋設しました。11月中旬に調査作業を完了しました。有り難うございました。

口山地区



主任技術者
石井 仁美

㉒ 令和元年度 利賀トンネル1工区坑口部地質調査業務／株式会社アーキジオ

【工期】令和元年7月12日～令和元年12月10日

業務
概要

本業務は、南砺市利賀村長崎地先において、利賀トンネル坑口部対策検討のため、ボーリング等の地質調査を実施するものです。現在のところ、2箇所掘削中であり、12月上旬には現場作業を終える予定です。

6.トピックス

「ど〜んと利賀の山祭り」に安全対策協議会メンバーが会場設営のお手伝い!

令和元年10月20日(日)「ど〜んと利賀の山祭り」が盛大に開催され、利賀ダム工事事務所安全対策協議会メンバーも伝統行事「石かち」に参加しました。

伝統行事「石かち」とは、合掌造り屋根の土台作りを再現したもの。威勢のいい「石かち音頭」が歌われる中、重さ800kgの撞木(しゅもく)が引き上げられ、大きな石の上に打ち付けられます。

今年は、安全対策協議会メンバーが前日の会場設営準備や後片付けなどの会場設営のお手伝いをしました。(協議会メンバーの皆様、誠に有り難うございました。)



伝統行事「石かち」

▼ 協議会メンバーによる会場設営協力



▼ 田中南砺市長も「石かち」に参加!



7.あとかき

「利賀の水音」は、今回34回目の発刊となります。

11月9日(土)には、南砺市七村区長会(区長:直江 学氏)及び南砺市Vセブン委員会(会長:久恵博明氏)主催の井波不動滝霊水周辺(南砺市井波地区)と林道の環境美化活動に参加しました。

今回の活動では、井波中学校の生徒さんや南砺警察署井波交番の参加がありました。(写真①)利賀ダム工事事務所からは、ボランティア隊9名の職員と子供達2名の計11名が参加し、水汲み場周辺の清掃活動を行いました。(写真②③)

これからも地域の皆様とともに、さまざまなイベントや行事・活動を通して、職員や工事・業務受注者と共に更なる交流を深めていきたいと思っておりますので、引き続き宜しくお願いします。

▼ 写真①:井波不動滝環境美化活動に参加された皆様
(左側:井波中学校、中央左:利賀ダム、中央右:井波交番、右側:七村区長会・Vセブン委員会の皆様)



▲ 写真②:利賀ダム工事事務所ボランティア隊と子供達

▲ 写真③:水汲み場の清掃状況

▼「利賀の水音」について、お気づきの点等ありましたら、下記までご連絡下さい。

利賀ダム工事事務所 安全対策協議会



■事務局:利賀ダム工事事務所 工事課

〒939-1363 富山県砺波市太郎丸1-5-10

【TEL】0763-33-4799 / 【FAX】0763-33-0271 / 【E-MAIL】toga@hrr.mlit.go.jp

■ごさいしょ利賀(監督員詰所)

〒939-2507 富山県南砺市利賀村201

◆利賀ダム工事事務所ホームページにて工事の進捗状況を発信中です◆

【URL】<http://www.hrr.mlit.go.jp/toga/index.html>

引き続き地域の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

